



浜銀総研 News Release



平成 28 年 9 月 12 日

個人 E B M に関する特許取得について

株式会社浜銀総合研究所（代表取締役社長 伊東眞幸、横浜市西区みなとみらい 3 丁目 1 番 1 号）は、個人のお客さまを対象とするイベント・ベースド・マーケティング（以下、「E B M」といいます）に関する特許を取得しましたので、お知らせします。

E B M は、お客さまの金融ニーズが顕在化した取引や属性の変化などのイベントを捉えて、ニーズを的確に把握するマーケティング手法です。グループ会社である横浜銀行では、平成 20 年 1 月から個人のお客さま、平成 25 年 9 月から法人のお客さまを対象とした E B M システムの運用を本格的に開始し、毎日 3,000 件以上の情報を横浜銀行の営業担当者に配信することで、お客さまのニーズに沿った活動を進めています。

このたび、弊社が運営するナレッジラボ（ ）において、個人のお客さまの口座に入金される資金の特徴を推測するモデルを開発し、特許が認められました。このモデルによって、参加各行は退職金の受け取りなどを推定し、お客さまのニーズに備えることができます。

浜銀総合研究所は、ナレッジラボにおける地銀連携を進め、ビッグデータから得られる知見を活用することで、参加各行がお客さまとの接点拡大とサービス拡充に努めることを支援してまいります。

【特許権の概要】

登録番号：特許第 5850592 号

発明の名称：金融口座を管理するコンピュータ・システム

ナレッジラボ

マーケティングデータベースを共有し、モデル開発・人材育成・ノウハウ共有を行う組織。参加行は 9 行（北海道銀行、群馬銀行、武蔵野銀行、横浜銀行、北越銀行、北陸銀行、京都銀行、四国銀行、西日本シティ銀行（平成 28 年 8 月現在））。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社浜銀総合研究所

情報戦略コンサルティング部

高野、小谷田、影井（電話：045-225-2378）